

## 近着石刻関係書所収元代石刻リスト 12

森田 憲司

第 16 号以来の新刊石刻書目録になる。本稿は、近年に中国で刊行され、日本に入荷した石刻関係書のうちから、元代石刻の拓影や写真、あるいは録文を掲載するものを紹介するものである。今回は、結果として『三晋石刻大全』が多くを占めることとなったが、この間、他に石刻関係図書がなかったわけではない。紙数の関係もあるが、次号以下に予定している論考にかかわるものについては、その号に掲載することにしたのも一因である。各石刻の名称には、筆者が拓影によって題額などから採録したものや独自に命名したものもあり、各書籍が石刻に附している名称とは同じではない場合が少なくない。石刻の年代についても同じ。

なお、『三晋石刻大全』の利用については、京都大学文学部図書室、東京大学東洋文化研究所図書室のお世話になった。お礼申し上げたい。

### 三晋石刻大全・晋城市高平市卷 常書銘主編 三晋出版社 2010 年 11 月

写真と繁体字録文（訓点付）、解題

写真は全体を完全に読み取れるものは少なく、以下の掲載石刻の紹介も本書の録文に拠らざるを得ない。録文には改行をほどこしているが、原文を復元したものではない。

十方慈教院施地記 大朝甲辰年（1244?）4 月（日付） 46p

翔建清夢觀記 中統 2 年（1261）9 月 23 日（立石） 49p

新修玉清觀記 己卯（至元 16/1279）5 月 15 日（立石） 51p

資聖寺創興田土記 至元 19 年（1282）4 月 4 日（立石） 53p

仙姑祠堂之記 至元甲申（21/1284）8 月既望（記） 55p

写真では読めないため、碑名は篆額により（録文の首題は「之」なし）、日付は録文による

太上祖師天公玉皇廟碑并序 至元 21 年（1284）10 月既望（立石） 56p

写真では読めないため、碑名・日付は録文によった（篆額には「并序」なし）

重修真沢廟記 至元 21 年（1284）9 月 9 日（重九日）（立石） 58p

日付は写真では読めないため、録文によった

翔建広禅侯廟記（首題） 至元 23 年（1286）3 月晦日（記） 61p

全体が写真で読める

七仏祖師天公玉皇廟院仙姑祠宇下常住土田壁記 至元 25 年（1288）2 月 1 日（記）

62p

懸壺真人廟經始之記（首題） 元貞□年8月（記） 64p

首題は写真では読めないため、録文による、本書は元貞元年とするが、根拠不明  
淵壺廟祈雨記 大徳5年（1301）4月15日（記） 66p

軒轅廟題記（本書） 不明

本書では、上記のように題するが、おそらくは重修記か、また本書が比定する、至大3年は文中に「重修」とある日付だが、文意から考えるとおそらくは以前の重修の日付で、本石はそれ以後の重修のもの

### 三晋石刻大全・臨汾市侯馬市卷 三晋出版社 2011年2月

拓影、繁体字録文（訓点付）、解題

重修宝峰院碑記（首題）元統2年（1334）8月18日立石、碑陰：宝峰院僧人世系図譜碑記  
陽陰とも拓影、録文 29p

重修后土廟記（首題） 元統2年（1334）3月20日（日付） 碑陰題名 陽陰とも拓影、  
録文 33p

立廟碑記（首題） 至正22年（1362）5月1日立石 35p

※唐太宗廟

### 満城県歴代碑(石)刻輯録 范福生編 河北教育出版社 2011年12月

原型の録文と訓点付録文、研究、拓影は部分のみ、清代の地方志を利用しているため、誤読や諱字に注意。

(満城県)抱陽山宝教禅院第一代顯公大禅師徳行碑 17p

「至元十七年（1280）仲口上旬六日・・・立石」とある

拓本貼り付け写真あり、録文、首題の上部が欠けていて( )部分は読めないが、字数から考えてもう少し長いのでは？

蔡国公張柔墓神道碑 127p

風化が激しく地方志の録文掲載、遠景写真のみ

有元故中奉大夫河南江北等处行中書省參知政事張公(弘略)神道碑銘并序 133p

大徳4年（1300）8月15日立石 写真は篆額、遠景写真のみ、本文は録文兩種のみ

大元故中奉大夫河南參知政事張公(弘略)墓誌銘并序 元貞元年閏4月撰 143p

本書が元貞「六」年とするのは誤り、拓本貼り付け写真、録文兩種

元故清河郡太夫人花氏墓誌(篆蓋) 至正元年（1341）10月28日葬 154p

拓影、録文兩種

有元贈中奉大夫河南江北等処行中書省參知政事護軍追封南陽郡公韓公(昌)神道碑 159p

至順2年(1331)2月建、下半欠

拓本貼り付け写真(読めない)、録文兩種、碑陰「南陽郡公宗族之図」は録文のみ

### 三晋石刻大全・晋城市沁水県巻 三晋出版社 2012年4月

写真と拓影、繁体字録文、解題

沁水県竇実村新修仏堂記(首) 至元25年(1288)4月朔立石 拓影なし、写真可読 17p

修建聖王行宮之碑 至治2年(1322)5月25日立石 18p

修渠灌溉規条碑(本書) 至元3年(1337)3月11日工畢 拓影 20p

県尹常公園興水利記(篆額) 至正9年(1349)4月□日 22p

拓影不完全 下部少し欠け

### 三晋石刻大全・臨汾市浮山県巻 三晋出版社 2012年9月

拓影もしくは写真と繁体字録文(訓点付)、解題

唐閣摩崖造像(文中) 44p

金代の造像だが、大徳4年(1300)、大徳7年(1303)の題記もあり、写真

浮山県天聖宮戊午年宣諭碑(森田) 48p

「戊午年月日」と録文、戊午は憲宗8年(1258)?

「蒙哥皇帝聖旨裏」とあり、写真は暗くて見えず、録文による、印ありとのこと

王利用宿天聖宮詩碑(本書) 50p

拓影と写真あり、己卯は、至元16年(1279)、後至元5(1339)のいずれか不明

華池廟之賛碑(本書) 52p

至元27年(1290)孟秋下旬三月(録文による、最後の部分読めない)

写真、部分で不鮮明、剥落後のものか?

清微観大殿門石礮(文中) 53p

他用に加工された部分のみ残、「大徳四年(1300)・・・庵」と読める 写真、拓影

天聖宮角柱(森田) 54p

「大徳七年(1303)□月□(一字分)日誌」と読める。日付部分はわざと削られた感じ

写真、部分拓影

楊村河廟脚柱銘（本書） 写真 55p

「大徳十一年(1307)歳次丁未戊申月壬辰日・置造石脚一對」とある

湯王廟記（本書） 至正4年(1344)九月吉日立石、上半欠、湯王廟跡にあり 拓影 56p

創建湯王廟記碑（本書） 58p

録文も同じタイトル、写真と部分拓影、工賃の記事有、元碑とする根拠不明  
修復混元正殿碑序（本書） 60p

左半、上部欠、本書は内容により元とするというのが具体的根拠不明 拓影  
天聖宮禱雨靈応記（題） 62p

至治（この字読めない）三季(1323)癸亥夏五吉日、拓影（不鮮明）、写真

### 蘇州博物館蔵歴代碑志 蘇州博物館編 文物出版社 2012年12月

拓影、簡体字録文（改行指示有）

□恂壙誌（森田） 延祐甲寅8月25日(1/1314)葬 66p

鄭国公墓誌銘（頭） 乙巳(大徳9、至正25)11月甲申葬 68p ※

曹天鱗家建塔銘（森田） 至元31年?6月24日(1294) 72p

「十一年」は見えるが

### 三晋石刻大全・長治市黎城県卷 三晋出版社 2012年12月

拓影もしくは写真と繁体字録文（訓点付）、解題

辛村重修天齊廟正殿碑記（本書） 後至元5年(1339)施、拓影 34p

路堡聖源廟創修碑（本書） 延祐2年(1315)11月辛亥日立銘、拓影 35p

路堡聖源廟創修碑（本書） 延祐2年(1315)8月壬午（文中） 36p

上の碑と同じ時の題名と本書はする

七仏祖師堂記（篆額） 至正15年(1355)11月15日立石、拓影 37p

長寧靈応聖井行祠題詩碑（本書） 至正丙申(16/1356)孟夏中旬吉日立石 拓影 39p

靈通濟物慈恵法師道行碑銘（題） 41p

右半分のみ、日付無きも大元で改行、拓影

（もりた けんじ、奈良大学）